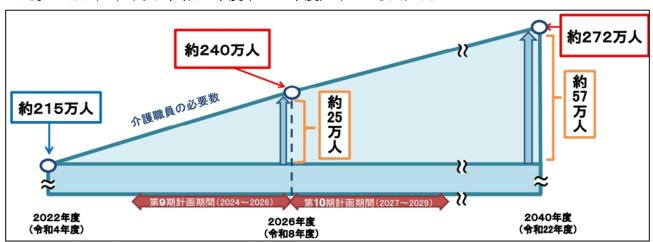
地域における介護人材の将来的な必要数等について

1. 全国推計

●第9期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護職員の必要数を集計すると、<u>令和8年度(2026年度)には約240万人</u>(+約25万人(6.3万人/年))、<u>令和22年度(2040年度)には約272万人</u>(+約57万人(3.2万人/年))となった。 ※()内は令和4年度(2022年度)(215万人)比



(出典: R6.7.12 厚生労働省報道発表資料「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」)

2. 大阪府推計

●令和6年3月に策定された「大阪府高齢者計画 2024」では、大阪府における介護人材の 需給ギャップについて、以下のとおり推計されており、<u>令和8年度(2026年度)には府下</u> 全体で約24,300人の不足が見込まれている。



(出典:「大阪府高齢者計画 2024」)

●第8期計画時点での推計は下表のとおりで、第9期計画(「大阪府高齢者計画 2024」)時点では需給ギャップがより広がっていることがわかる。

	需要推計 ①	供給推計 ②	(需給ギャップ)①-②
2023(令和5)年	200,852 人	184,313 人	16,539人
2030(令和 12)年	228,085 人	183,593 人	44,492 人

(出典:「大阪府高齢者計画 2024」)

●さらに長期的な推計は下表のとおりで、<u>令和22年度(2040年度)には府下全体で約62,000</u> 人の不足が見込まれている。

[介護サービス種別(入所、訪問、通所)ごとの需給推計(実人数)]												
介護職員数 推計結果 (人)												
介護職員数 (需要推計) 介護職員数 (供給推計) 介護職員数						職員数(需	要と供給の	差)				
	内		内訳		合計	内訳		소심	内訳			
	合計	入所	訪問	通所	10.0	入所	訪問	通所	合計	入所	訪問	通所
2026年	215,481	71,661	106,912	36,908	191,186	56,419	107,207	27,560	24,294	15,242	-295	9,348
2030年	228,788	76,927	112,839	39,021	188,134	51,601	111,956	24,576	40,654	25,326	883	14,445
2035年	236,367	80,920	115,468	39,979	182,300	47,158	113,157	21,985	54,067	33,763	2,311	17,994
2040年	235,210	81,947	113,873	39,390	173,333	43,271	110,147	19,915	61,878	38,676	3,727	19,475
※端数処理の関係上、内訳と合計について、差異が生じる場合あり。												

(出典:「大阪府高齢者計画 2024」)

3. 箕面市における推計

●上記2.の大阪府推計をもとに本市における推計を行うと、第9期計画の最終年度である 令和8年度(2026年度)には本市において488人の不足が見込まれる。

	令和4年度	(2022 年度)	令和8年度(2026年度)				
	到中老粉	和完全数 介護職員		需要推計	供給推計	(1)-(2) ^{**2}	
	認定者数 	数 ^{※1}	推計	1	2	(I)—Z)***	
大阪府	555, 357 人	193, 974 人	594, 682 人	215, 481 人	191, 186 人	24, 295 人	
■ (1) 認定者数の差をもとに ■ (2) 認定者数推計の差を							

(1) 認定者数の差をもとに 令和4年度箕面市介護 職員数を推計

(2) 認定者数推計の差を もとに箕面市需要推計 を算出

	令和4年度	(2022 年度)	令和8年度(2026年度)				
	和京老 <u></u> 介護職員		認定者数	需要推計	供給推計		
認定者数		数	推計	1	2	1)-2	
箕面市	6, 190 人	2, 162 人	7, 229 人	2,619 人	2, 131 人	488 人	

(3) 令和 4 年度から令和 8 年度の大阪府介護職員 数と供給推計の差をもとに箕面市令和 8 年度 供給推計を算出

※1…厚生労働省報道発表資料「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」に基づく値。 ※2…①-②の計算値。「大阪府高齢者計画 2024」記載値とは端数処理の関係上差異が生じる場合あり。

●同様に令和 22 年度 (2040 年度) における推計を行うと、<u>令和 22 年度 (2040 年度) には本市</u> において 1,495 人の不足が見込まれる。

4. 介護人材確保に向けた取組(実績)

<令和6年度>

- ●市広報紙「もみじだより」2月号において、高齢者をサポートする仕事を紹介する記事 (表紙及び巻頭特集2ページ)を作成し掲載。
- ●池田市・ハローワーク池田と連携し、箕面市立メイプルホールにて11月8日(金)に 「様々な働き方で活躍できる福祉のお仕事セミナー」及び介護事業所のご案内会を開催。
- ●介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスAを担う「生活支援サポーター」養成研修を実施する事業者に対し、研修修了者数に応じた補助金を交付。